

1

塗装は建物を守るために

塗装は建物の美観を保つためだけのものではありません。外壁の塗装は、太陽光や雨風にさらされ、年月の経過とともに劣化していきます。塗装の剥げやヒビ割れを放置しておくと、そこから雨水が染み込んで、柱や土台を腐食させ、建物自体の劣化を早めることになってしまいます。職人さんは、塗装のことを「塗膜」と呼びます。それは、塗装の本当の仕事は、その塗膜で建物を保護するからなのです。



プロがこっそり教える耳より話(その1)

塗り替えの目安は壁が15年、屋根は10年

通常、壁の塗装は10年くらいで劣化が始まり、15年程度に1度が塗り替えスパンの目安です。しかし使用されている塗料の性能や周囲の環境によって大きく違います。ひび割れや塗膜のはがれ、カビの発生がサインです。屋根は普段目にしにくいので気づきませんが、強い太陽光や雨風にさらされるため寿命は短く、10年程度です。さらに木部の塗装の寿命はさらに短く、3~5年が塗り替えの目安です。

